

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	河東線記念公園整備事業
事業主体 (連絡先)	河東線記念公園運営協議会 須坂市役所 まちづくり課 (電話 026-248-9007)
事業区分	5)環境保全及び景観形成に関する事業 6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,731,240 円 (うち支援金: 1,110,000 円)

事業内容

地域資産の活用「長野電鉄河東線」の歴史的資産の有効利用を図る事業

- ・軌道跡地内に自由に通行できる遊歩道 (L=173m) の整備
- ・入口に鉄道の歴史を伝える内容の看板を設置
- ・キックオフイベント (鉄道フェア) の開催
(8月1日 河東線記念公園内及び㈱サンジュニア本社前特設ステージにて開催)
- ・イベントをはじめ遊歩道の散歩、電車の鉄道ルール上で電動レールカーの試乗をおこなった。



【遊歩道整備】

【目標・ねらい】

- ① 地域資産を活用した新しい観光スポットの普及
- ② 地元企業・地域住民・行政による協働作業による環境整備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・残された歴史的資産 (電車の鉄道レール・車両切替ポイント・車両整備倉庫) の有効活用が図られた。
- ・軌道跡地内に遊歩道を整備することで、新たに住民が通過できることにより、地域住民の生活利便性の向上につなげることができた。
- ・各種の広報活動や情報発信により「歴史を伝える場所」「人が歩ける場所」「楽しめる場所」として、須坂の魅力度を再認識するきっかけを作ることができた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・廃線になり解体予定であった建築物を保存し、貴重な財産を後世に残すための景観整備ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・引き続き地域の公園として人々が楽しめる公園・河東線を開通した人々の歴史を刻んだ公園地域資産を活用した公園の整備を進めていきたい。
- ・高齢化にともない地域住民の交通の便やスーパーマーケットなどへの利便性向上のため利用促進の広報活動を実施していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある